

ひざし

2019 5

No. 243

第20回えんゆう農業協同組合通常総会



第20回通常総会の様子

第20回えんゆう農業協同組合通常総会



第20回通常総会の様子と開会挨拶を述べる中川組合長(写真左円内)

総会は定刻の午前10時より、菅井誠代表理事専務の開会宣言の後、出席した組合員・役員員・来賓全員でJA綱領を朗唱し始めました。

開会に先立ち中川菊夫代表理事組合長から、「30年度事業は、畑作青果につきまして春耕作業後にあった低温、夏の猛暑の影響により、作物によっては品質・収量ともに地区で大きな差が発生し、全体的に平年作を下回る結果となりました。酪農全般に関しては、乳価の引上げ、個体販売価格の高値安定など酪農情勢が良好だった一方、9月6日の胆振東部地震に発生したブラックアウトに

えんゆう農業協同組合第20回通常総会が4月10日、上湧別農村環境改善センターで組合員278名(本人出席97名、代理出席35名、書面出席146名)が出席し、全7議案が原案通り決定致しました。

組合員との強い信頼関係で
地域農業振興を図る



議長を務めた湧別町北兵村三区の松浦健治さん(右)と遠軽町若咲内の林秀和さん(左)



行政ならびに関係機関等を代表して祝辞を述べる
刈田湧別町副長(左)、厂原遠軽副町長(右)



行政ならびに関係機関等を代表して祝辞を述べる
伊藤慎治JA北海道信連北見支所長

より、生乳廃棄等の被害を受け、大変な思いをされた方が多いと思います。しかし、組合員皆様のご協力により、被害が最小限に抑えられたことに敬意を表します。」と組合員にねぎらいの言葉を述べました。

引き続き、来賓を代表して刈田智之湧別副町長、厂原收遠軽副町長、伊藤慎治JA北海道信連北見支所長より祝辞をいただき、武部新衆議院議員と久保秋雄北海道議会議員からの祝電を箭内秀幸総務委員長が披露した後、松浦健治氏（湧別町北兵村三区）、林秀和氏（遠軽町若狭内）



JA北海道大会決議事項の着実な実践に関する特別議決案を読み上げる福島達也青年部長

の2名を議長に選任し、議案審議に入りました。

平成30年度事業報告と決算報告、平成31年度の事業計画など、全7議案が原案通り承認されました。

また、「JA北海道大会決議事項の着実な実践に関する特別議決案」を福島達也青年部長が、力強く読み上げ、満場一致で採択されました。

最後に中川代表理事組合長の閉会挨拶、菅井誠代表理事専務の閉会宣言で午前11時55分に全日程が終了しました。

◆今月の主な記事◆

- ◎第20回えんゆう農業協同組合通常総会……………2
- ◎今年も玉ねぎの植付け作業が始まりました
- ◎今年も立茎アスパラ「遠軽」よっきーずの収穫出荷が始まりました……………4
- ◎平成30年度農畜産物共励会各賞決定……………5
- ◎第8回えんゆう酪農ヘルパー利用組合通常総会……………6
- ◎第9回えんゆう乳牛検定組合通常総会……………6
- ◎JAグループ通信……………7
- ◎平成31年度春季農事部懇談会……………8
- ◎第29回JA北海道大会(2回目)……………10
- ◎理事会のあらまし……………10
- ◎読者の声……………12
- ◎クロスワードパズル……………13
- ◎いもたま作造くん……………13
- ◎NTT設備事故防止のお願い……………14

今年も玉ねぎの植付け作業が始まりました

好天に恵まれた4月下旬、JAえんゆう管内上湧別地区では、玉ねぎの植付け作業が最盛期を迎えました。玉ねぎは、2月中旬に播種し、二ールハウス内で育てた苗を、4月

中旬から5月上旬にかけて、植付けを行います。

今回取材させて頂いた、湧別町南兵村一区の阿部和彦さんの家では、今年はおおよそ9・5haの玉ねぎ栽培を予定。作業の合間に



定植作業の様子

後継者の雄太さんに話を伺うと、「昨年就農をしたばかりで、覚えることがまだ沢山ありますが、良い玉ねぎが収穫出来るように1つ1つ覚えていきたいと思っています。そして、消費者に上湧別産の玉ねぎをどんどんPRしていきたいです。」と話してくれました。

今年の上湧別地区では、玉ねぎ栽培農家56戸が極早生から晩生の5品種、合計549haの栽培を計画しています。

今年が豊穣の秋となることが期待されます。

今年も立茎アスパラ「遠軽」よっきーずの収穫出荷が始まりました

「遠軽によっきーず」のブランド名で知られる遠軽町立茎アスパラ生産組合（岡村貴幸組合長）に所属し

ている6戸の立茎アスパラガス栽培農家では、4月3日からアスパラガスの収穫と出荷が始まりました。



アスパラの病気について説明を受ける立茎アスパラ生産者の皆さん

生産者の皆さんは、それぞれのビニールハウス内で育てたアスパラガスを一本ずつ丁寧に収穫し、遠軽と生田原にある選果場でサイズ別に選果、JAから青果市場やゆうパックなどを通じて各地に販売します。その他、遠軽町のふるさと納税の返礼品としても出荷しています。

取材当日は、生産組合に所属する生産者が集まり目合わせ会を開催、今年の作況やサイズ、栽培方法などをそれぞれハウスを回りながら意見交換をおこないました。



総合乳質の部で中川組合長(左)から賞状を受け取る
湧別町北兵村二区沢口豊さん(右)

平成30年度 農畜産物共励会各賞決定

質と量を兼ね備えた農畜産物の出荷を切磋琢磨することを目的として、昨年度から始めました農畜産物共励会の平成30年度各賞が決まり、4月10日に開催されたJAえんゆう通常総会の席上で表彰をおこないました。
受賞された組合員の皆様、おめでとうございます。

甜菜の部

松浦 健治 さん

(上湧別地区)

ha当り糖収量

12.62 t

小麦の部

吉田 和弘 さん

(上湧別地区)

反当り収量

646kg

玉葱の部

中川 悠一 さん

(上湧別地区)

反当り収量

6,927kg

ブロッコリーの部

加藤 玲史 さん

(上湧別地区)

反当り収量

181c/s

馬鈴薯の部

加藤 玲史 さん

(上湧別地区)

反当り収量

2,895kg

生産乳量の部

開盛デーリィファーム さん

(上湧別地区)

総生産乳量

3,705 t

酪農経営の部

中田 誠 さん

(上湧別地区)

kg当り生産乳代

104.43円

総合乳質の部

澤口 豊 さん

(上湧別地区)

年間体細胞数平均

4.4万

1頭当たり乳量の部

柳田 拓馬 さん

(生田原地区)

1頭当り生産乳量

12,402kg

第8回えんゆう酪農ヘルパー利用組合通常総会



開会挨拶をおこなう秋葉宏之組合長

えんゆう酪農ヘルパー利用組合は、4月18日にJA本所にて第8回通常総会を開催し、33名が出席のもと、湧別町、遠軽町、JAえんゆうから来賓を迎え、開催しました。

開会挨拶で秋葉宏之組合長は、「本年も計画を大幅に上回る酪農ヘルパーの活用をいただいたことに感謝したい」と話し、「求人広告の掲載など、専任ヘルパーの募集を行った結果、新たに2名を採用しました。これからも専任ヘルパーの募集を引き続き行い、ヘルパー受付方法の見直しの協議も含め、さらなる組合体制づくりをおこなっていきたい」と今後の展望について話しました。

総会は、平成30年度事業報告ならびに収支決算を始めたこと、全議案が原案通りに承認されました。

第9回えんゆう乳牛検定組合通常総会



総会に先立ち行われた優秀農家表彰の様子

えんゆう乳牛検定組合は4月18日に第9回通常総会をJA本所にて、組合員31名が出席のもと、湧別町、遠軽町、JAえんゆう、網走農業改良普及センター、NOSA Iオホーツクから来賓を迎え、開催しました。

総会の議案提出に先立ち、優秀農家表彰がおこなわれ、今年度は牛群能力の部で2名、生涯能力優秀牛で9頭が緑川将仁組合長から表彰されました。

総会は、平成30年度事業報告ならびに収支決算をはじめ、全6議案が審議され原案通り承認、盛会のうちに閉会となりました。

『地上』は青年農業者の“声”をたいせつにします。全国の盟友たちと『地上』を通してつながろう!!

地上
GOOD EARTH

定価(税込)
●標準月号 606円
●2019年12月号より 618円
●付録月号(4-11月号) 658円
●2020年4月号より 680円

お申し込みはお近くの本・支店(所)へ

JA自己改革

に役立つ情報満載!

- 若手農業者のリアルな声を届けます
- 農業情勢 & 農業政策をわかりやすく解説
- JAグループが進める創造的自己改革の意味と重要性が理解できる
- 同世代女子の農業にも注目

別冊付録
年2回(4・11月号)、1つのテーマを掘り下げて解説。理解を深めます。JA青年組織の学習会テキストに最適。

JAグループ 家の光協会
〒162-8448 東京都新宿区市谷船河原町11 TEL 03-3266-9039 <http://www.ienuhikari.net>

食と農のウェブマガジン「pikkari(ピッカリ)」では、『地上』に登場した青年農業者たちを紹介しています。また、読者と編集部が交流するフェイスブックも開設しています。

『家の光』ピッカリ
食と農のウェブマガジン

農業・地域・JAを担うリーダーの雑誌
地上 Facebook

J Aグループ通信

J Aグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

J A北海道大会決議事項の実践やその時々
のトピックスなど、組合員の皆様に定期的
にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイ
トをご覧ください。

J A北海道中央会

J Aグループ北海道は、平成31年4月12日、
札幌駅・地下歩行空間で開催された「JP01
まつり」で食と農・J Aの魅力伝えるス
マートフォンアプリ「J A2MP（ジェイエ
イジャンプ）」のダウンロードキャンペー
ンブースを出展し、400名を超える方々にダ
ウンロード頂きました。

「JP01まつり」はフリーマガジン「JP
01」に掲載された企業・団体を中心となり出
展するイベントで、道内から4J A・1連合
会も出展しました。

「J A2MP」配信開
始から2年が経ちまし
たが、ダウンロード総
数は20、138（4
/12時点）となり、2
万ダウンロードを突破
しました。



J A北海道信連

J Aバンクでは、子どもたちに食や農業の
大切さを理解してもらおうきっかけとなること
を願い、平成20年度から、食農教育等をテ
マとした教材本を製作し、J Aを通じて道内
の小学校へ贈呈しています。今年度は、全道
1、059校の小学校および
特別支援学校に贈呈します。

なお、本会からは、北海道
教育委員会へ教材本の贈呈を
行い、教材活用への協力をお
願いしました。



北海道教育委員会
教育長(写真右)へ贈呈



ホクレン

ホクレンでは北海道内の料理人らを主な対
象にした北海道ナチュラルチーズ特別セミ
ナーを札幌グランドホテルで開催し、道内
チーズ工房の生産者による講演やナチュラル
チーズの特長を生かした料理の実食、盛り付
けの専門家によるデモンストレーションなど
を紹介し、道産チーズの魅力を伝えました。

講演では北海道産チーズのレベルの高さや、
それを維持していくことの大切さなどが解説
され、試食会では道内工房
のチーズをふんだんに使っ
た料理レシピ5品が紹介さ
れ、ナチュラルチーズの豊
かな風味がPRされました。



J A共済連北海道

J Aのこども共済「学資応援隊」がママリ
口コミ大賞2019春 学資保険部門 第1位
に選ばれました。

「ママリ口コミ大賞」とは、ママ向けアプ
リ「ママリ」がユーザーを対象に「本当に買
ってよかった」と思う商品・サービスについ
てアンケートを実施し、口コミ件数と満足度
を基準に支持が多かった上位商品を紹介する
取り組みです。

J A共済連は、これからもお客様にご満足
いただけるように努めてまいります。



J A北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様様の生命と健
康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推
進を図ることを目的として、広報誌「すま
い」を発行しております。

年3回発行しており、様々な医療・健康情
報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載し
ておりますので、是非ご一読ください。



建設的な意見要望が多く寄せられる 平成31年度春季農事部懇談会

3月28日から4月2日にかけて、22地区8会場において、春季農事部懇談会が開催され、多くの組合員が出席しました。

懇談会では、平成30年度JA収支決算、農畜産物販売高、農協がおこなっている事業進捗度合い、今後の取組などを説明するとともに、組合員から多くの意見・要望が寄せられました。

主な事項についてお知らせするとともに、理事会において十分検討し、今後の事業推進に反映させてまいります。

なお、記載漏れ・内容不備があったときはご容赦願います。

春季農事部懇談会の主な意見・要望



懇談会では多くの意見要望が寄せられました

【営農】

1. ホクレンで開始した自動操舵のネットワーク利用について、当農協は行わないのか。

↓当農協独自のRTKシステムを本所に設置しているの、希望者は利用したい。ホクレンのシステムは携帯電話のシステムとなり、携帯電話の利用できない場所を考慮し、農協のシステムは無線方式としております。

2. コントラクターの人員確保に力を入れてほしい。

↓年々人材を確保する事が困難になっているが、積極的に募集してほしい。

きたい。尚、本年度については若干名面接を行う事が決定しております。

3. コントラクター収支が大幅な赤字となっているが、農産関連の共同計算方式では生産者が減価償却も人件費も含めて、掛る経費を案分して持つ仕組みになっているので、赤字となる事は無い。コントラクターだけどうしてこのような仕組みになっているのか。今後赤字部分は怎么样って解消していくのか。

↓コントラクター運営については、共同計算方式のように参画する全ての組合員が同じ工程を行っておらず、掛った経費を均等に案分する事が非常に困難である事から利用料金方式にて対応している。当年度の赤字については旧式となった機械の修理部品代が高額となったことが要因である。今後赤字を解消するために適正な料金設定を行い、赤字とならないように運営を行って参りたい。

4. 農協独自の土壌診断を中止すると、今後の窓口はどこになるのか。

↓今後は資材課が窓口となります。資材課での土壌診断利用に応じ、農協として助成を行って参りたい。

【対策】

1. えんゆうアグリサービスとは、どの様な会社なのか。

↓農地を所有できる「農地所有適格法人」として、遠軽町に住所を置く法人。設立した経緯は、生田原地区で遊休農地の発生が出ると予想されたことから、地域農業の維持、振興を図る事が目的のひとつ。又、当農協で乳用牛の哺育育成センター設立計画がある事から、今後この会社にて事業運営を行って参りたい。

【管理】

1. 総会後の懇親会は今後も続けていくのか。

↓総会終了後の懇親会の有無については、過去平成26年度に各地区にて一度検討を頂いた経緯にございますが、その時に続けてほしいとの要望がありましたので、今後も続けていく見込みであります。

2. 監査法人が変わると、料金はどう変わるのか。

↓今まで受けていた全中監査に関する料金は、毎年中央会に支払っている賦課金の中で賄われていまし

たので毎年定額でございましたが、今後の公認会計士監査では、実際に監査を受けた時間等を基に監査報酬額が算出される事となります。現時点でのり監査法人から提示を受けている年間見積監査工数は805時間となっており、見積監査報酬額は約670万円となっております。今後はみのり監査法人に対する上記金額は発生しますが、中央会に支払う賦課金はこの監査報酬額に相当する分が減額となります。

3. 5年計画（中期計画）の中で、組合員への現場対応の強化を謳っているが、実際問題としてきちんと現場対応が出来る体制となっているのか。

↓現場対応できる職員の数に限られている事や、職員育成には時間がかかってしまう等の問題はございますが、組合員サービスの向上に努めたい思いが農協にはございますので、今度体制づくりを図って参ります。

4. 育成センターの建築により、今後も出資金の増資はあるのか。

↓育成センター建築での出資金増資は予定しておりません。但し、今後自己資本増強のため、利用分量配当からの再出資については、

余剰金処分案の中でご提案させていただく可能性がございます。

5. 5年計画（中期計画）の収支は厳しいが、出資金の増口は今後あるのか。

↓5年計画については、近年経営環境の変化が激しいことから、各部門ともに収入を少なめに見積もった計画としてございます。出資金の増口については、以前行った増口5カ年計画のようなことは現時点では考えておりませんが、利用分量配当からの再出資については今後もご提案させていただく可能性がございます。但し、現状において各個人の出資金残高にだいぶ偏りが出てきておりますので、今後極力平準化していくような事については検討をしていく必要があると考えています。

【畜産】

1. 育成センターの進行状況を教えてください。

↓予定候補地の家畜等への営農用水問題が解決されることに見通しが立ったため、来年度（令和2年度）に補助申請を行う流れで進んでおります。

2. ヘルパー等の研修所の建築は行わないのか。

↓酪農ヘルパーの用員確保のための短期的な研修施設は今後設置致します。

3. アイスクリーム製造は今後も行っていくのか。

↓製造機械の老朽化等の問題等ございますが、本年度については昨年同様乳製品の消費拡大として取り組んで参ります。

【農産】

1. GAPに対して、他農協が行っているように、プロジェクトチーム等を作って対応しないのか。

↓現在、玉葱振興会においてGAP団体認証の取り進めを行っており、農産課を事務局として、営農課・資材課と連携を取りサポートを行って参ります。

【その他】

1. 一元号が変わる事による影響は何かあるか。

↓特にございません。

2. 一元号ではなく今後は書類等に西暦を使用しないのか。

↓行政機関は慣例的に和暦を使用しておりますので、それに準じた形で今後も和暦を使用して参ります。

【春季農事部懇談会出席者】

富美・上富美 14名	4の1・4の2 22名	4の3・5の1 22名
開盛・札富美・旭 9名	屯市・5の2・5の3 21名	遠軽・学田・清川・社名淵・瀬戸瀬 18名
丸瀬布・白滝 13名	安国・生田原・清里 10名	合計 129名

第29回 J A北海道大会(平成30年11月13日)

テーマ「多様化する組合員ニーズに 대응する
パネルディスカッション」
新たな協同組合の価値創造」

J A北海道大会当日に開催したパネルディスカッションの内容を2回に分けてご紹介します。(2回目)



宮入 隆 氏

北海学園大学 教授

J Aと生協連間で連携協定を結んでいます。地域課題も様々あり、J Aだけで、生協だけで、ではなく、協同組合が連携して新たな課題に対応できるのではという観点で議論したいと思います。

行友 弥 氏

(株)農林中金総合研究所
顧問 特任研究員



東北の被災地では農業や漁業再生のため土壌スクリーニング(放射能測定)、漁場再生、農地のがれき処理などで、生協組合員が活躍しました。漁業では、壊滅した三陸のカキの養殖を、ライバルである広島が稚貝を提供して復活させました。協同組合には、地域や分野を超えて連携する底力があるのです。多様な人々が互いに支えあう協同組合の可能性は、垣根を越えた連携にこそあるのだと思います。

宮入教授 生協側から見たJ Aへの期待、連携してできること、今後の課題、期待などを教えてください。



青竹 豊 氏

(一社)日本協同組合連携機構
(JCA)常務理事

協同組合が全国に持つ施設は、36、500と小学校区1つあたり2つある計算になります。遊休施設もある。生協は施設が少ないので、一緒に活用できれば助かる。組合員・職員と一緒に取り組めば、よりプラスになることを見つけて、やっていきたい。

生協連で災害対策も担当したが、災害時、生協とJ Aがそれぞれで被害把握と対応をしています。一緒に助け合いができないでしょうか。食材などの支援物資をJ Aからも頂ければ、生協のトラックで運べます。今年は、災害が多かったこともあり、連携の大切さを実感しています。

宮入教授 J A施設と生協の流通網を生かすと、もっと力強い繋がりの中で、事業ができると思います。常呂の漁協とJ Aの連携内容を教えてください。

小野寺 俊幸 氏

J A北海道中央会副会長
J Aとこころ 会長理事



山に木を植えることから連携が始まり、ガソリンスタンドや石灰工場をJ Aと漁協で協同して経営しています。また、漁協者がホタテの稚貝を撒く時には、農家組合員の若い人も手伝いに行き、漁業者も、農家が忙しい時には手伝うなど、地域産業を盛り上げようと頑張っています。

います。

地域を守るため、J A北海道厚生連にも入ってもらい、老人ホーム建設費用をJ Aと漁協で出しかうなど、協同組合間で連携してしっかり対応する。地域から人がいなくなると、店や学校がなくなり、大変な事態になります。一生涯、農業者は土とともに生活でき、漁業者は魚を取れるよう、家族経営を大事にしたい。地域内での協力は大事だと思えます。

宮入教授 地域ですと生きていく想いがあって初めて、地域で協力できるというお話でした。漁業の労働力が足りない時に、農業者が手伝う連携の話はすごい。多くの人に知って欲しい事例です。地域課題が多様化する中、協同組合が核となり、連携する形を考える重要性を改めて認識しました。生協とJ Aの連携で職員の連携・出向などの人的交流の状況を教えてください。

青竹常務 実例は、多くないですが、鹿児島では経済連にコープの中堅職員が、経済連からもコープに出向し、商品の共同開発も進めています。連携を深めるには、人と人の交流が重要だと思います。協同組合同士で相互に学び合うグループワーク形式の学習会が増えています。それを通じ、困った時に相談できる人間関係ができれば、連携のベースになります。

茨城では、J A、生協を含む41の協同組合・団体が協同組合ネットワークを作っています。無理に進めず、お互いに強みを持ち寄り、ダメ元でもまずやってみる。「ゆるやか」「あいのり」「やってみる」をキーワードとする活動ですが、このキーワードは、協同組合間連携のヒントになると思います。

第2号議案で、地域の様々な団体・自治体等との連携も掲げています。知らない者同士、考え方も歴史も違うので、色々あると思いますが、違いを認めることが、連携を進めるうえで重要だと思います。

宮入教授

上手くいっただ事例は紹介されますが、色々な失敗もあるという話で、いっぱい取り組んでみないと成功も出ません。まずは、やってみてお互いに学び合う。学習会などの緩やかな形で情報交換を通じて、互いの強みや抱える課題を、共有することで、連携の種になるという示唆を得ました。

行友顧問

少し話がずれますが、こども食堂の支援をしているJA東京中央の事例をご紹介します。元々、強い理念があったわけではありません。子ども食堂を運営する市民団体が規格外の野菜を食材として分けて欲しいと、社会福祉協議会を通じて要請してきたのが発端です。JA青年部で協議した結果、規格外ではなく正規品を出すことになり、差額をJAが負担して供給する仕組みができました。

これを機に、JA職員が社会福祉協議会主催のこども食堂ネットワーク会議に出席するなど、地域との繋がりが強まりました。食堂には畑の写真が貼られ、都市農業の現状を知ってもらう食育の機会にもなっています。参加者を畑に連れて行き、農作業を体験してもらおうという話も出ているそうです。

地域課題に対応しようとして模索を重ねた結果、新たな繋がりができて地域が強くなる。それが望ましい形だと思っています。理念先行ではなく、気がついたら繋がっていた。協同組合間の連携もそれが本来の姿ではないでしょうか。

それぞれの協同組合が互いの得意分野を活かす合い、自然に連携していく。そうなる芽は、たくさんあります。逆に言うところ、それだけ地域には様々な課題があるということです。

宮入教授 気がついたら連携していた取り組みがどんどんあれば良いと思います。

小野寺副会長 時代在即した協同組合を再構築しないといけないという想いを持っています。コン

サドレなどの結びつきがあり、大学としては、北海道大学や道教育大とも連携しています。

道教育大の将来先生になる学生に、青年部員の家に泊まる農村ホームステイしてもらい。農業の現場・実態を見て頂く。そして、先生になったときには、しっかり子供たちに農業を教えてもらう取り組み。青年部が学校に向き、じゃがいもや小麦の作り方を伝える、出前講義を行うなど色々な形の連携が増えています。

協同組合の価値をどう創造していくか。本日を原点として始めて頂き、新たな協同組合のあり方を再構築するとともに、協同組合間の連携で、大きく発展していくことを願っています。

宮入教授 協同組合は、すでに地域の課題解決に取り組んでいます。交流の中で、互いの価値を見つめ直し、新たな連携が生まれ、それが皆さん自身の活動の見直しにも繋がっていくことを願っています。最後に一言ずつお願いします。

行友顧問 農業や漁業の取材をして感じるの、生産と消費の現場が遠いことです。農家は消費者のニーズを直接知る機会が少なく、消費者も、農業者の苦労や想いを受け止めることがない。そのずれ違いが農業や漁業を衰退させてきた一因ではないかと思っています。JAや漁協、生協は、まさに生産と消費を繋ぐ団体であり、連携を強めてほしいと思います。

昔の農村共同体は同質な人々の集まりでしたが、今は農業者の規模や作目、経営形態も様々。地域には農家でない住民も大勢います。互いの違いを認め合い、足らざる部分を補い、助け合うことが、これからの社会が目指すべき方向ではないでしょうか。

協同組合は、その要になれる組織です。そのような思いを持って、今後の事業活動を展開していただけたらと思います。

青竹常務 第2号議案で、協同組合の理念に基づく「人づくり・組織づくり・事業づくり・地域づ

くり」を進めると宣言しており、改めてこれが協同組合だと実感しました。協同組合が皆さんの役に立つ存在になれるよう、皆さんと力を合わせて参りたい。

宮入教授 組合員が多様化する中、組合員になって良かったと思ってもらえるかどうか。生協の事例にもありましたが、組合員の想いを形にする、事業にしていけることが、参加やニーズの多様化に対応する1つの答えになるのではないのでしょうか。協同組合に集まるからできることを、整理して捉え直せば、新たな協同組合の価値創造に繋がると思います。

すでに、皆さんが取り組んでいる内容は、子ども食堂を含めて、SDGsにほとんど当てはまる。地域課題と構成員が多様化する、難しい時代の中で、もう一度整理するきっかけとして頂きたい。

JAは、もっと多様な役割を担っていると発信するためにも、新たな協同組合の価値創造は意味があります。太田原先生が、北海道は、協同組合で地域が成り立つコープアイランドだと言っており、JAだけでなく、様々な連携で発展して行けるのではないのでしょうか。本日は、ありがとうございました。



大会式典に先立ち、生協組合員から災害支援金1億円の目録贈呈が行われました。

理事会のあらまし

第3回理事会

(平成31年4月26日)

◇報告事項

1. 春季農事部懇談会の主な意見・要望について
2. 年金友の会総会結果について
3. 平成30年度共済推進結果について
4. 組合員の異動について
5. 固定資産の取得について
6. その他



◇議案

1. 内部監査規程の改正について
原案通り承認されました
2. 就業規則及び関連規程（安全衛生規程・育児および介護休業規程）
原案通り承認されました
3. 平成31年度理事報酬の配分について
原案通り承認されました
4. 平成30年度業務報告書及び連結業務報告書の行政庁提出について
原案通り承認されました
5. 固定資産の取得について
原案通り承認されました
6. 道常例検査指摘事項に係る改善状況報告について
原案通り承認されました
7. 出資金の譲渡について
原案通り承認されました

読者の声

大きい畑の農作業が始まりましたので、事故の無い様に作業を進めて下さい。

(匿名)

連休中はお孫さん達と楽しく過ごせましたでしょうか？農作業も繁忙期を迎えますので、農作業事故にご留意ください。

~~~~~

友達・同級生の結婚・妊娠・出産ラッシュに追いつけません。

(匿名)

おめでたいことがあると、立て続けに起こる事があるようですが、追いつけないお気持ち、わかります。

~~~~~

桜前線も松前に上陸とか!!当町は連休中には開花かな？
待ち遠しいです。

(P・N 奈津宙)

桜をはじめ、チューリップなど多くの花たちの開花も待ち遠しい頃ですね。

~~~~~

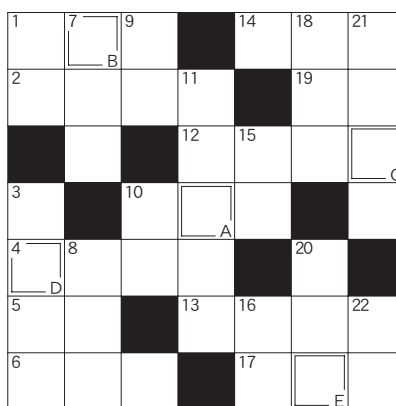
玉葱や甜菜の苗の植付けが最盛期を迎えています。年号が変わっても、豊穰の秋を迎えられることをご祈念申し上げます。

(匿名)

あまり食べないで！  
今年も年号も新しくなり、良き実りの秋を迎えられる事を願っています。

私ももう？歳になりました。たまに孫達とジグソーパズルやナンプレをしています。少し畑やハウスの面倒を見たりして暮らしています。

# プレゼント付きクロスワードパズル



|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| A | B | C | D | E |
|   |   |   |   |   |

4月号の答えは「モクレン」でした。年号が変わっても豊穰の秋を迎えられることをご祈念申し上げます。

湧別町上湧別 屯田市街地 駒形 睦子さん  
 湧別町北兵村三区 中川 永子さん  
 遠軽町西町 古関 和博さん

## ～応募方法～

応募用紙に答え・住所・氏名を明記し、身近な話題・変わった出来事等を書き添えてFAXにてご応募下さい。正解者の中から抽選で毎月3名の方に、粗品をプレゼント致します。

締め切り 5月24日(金)

### ヨコのカギ

- 1 カキツバタやハナシヨウブに似た花が咲きます
- 2 包丁の刃を受け止めます
- 4 他の人には教えないでね
- 5 歯のある履物
- 6 うどんや牛丼に掛ける調味料
- 10 ポールを使った曲芸がうまい海獣
- 12 漢字では無花果と書く果物
- 13 素人ではありません
- 14 はたきで取り除く物
- 17 大地真央や天海祐希は宝塚——団
- 19 これ——と食べられる豆もあります

### タテのカギ

- 1 プロではありません
- 3 アグネス・チャンのデビュー曲は『——の花』
- 7 堀端などでゆらゆらと枝を揺らすラッコやカワウソはこの仲間
- 8 3月はマーチ、4月はエイプリル、5月は？
- 10 歩き過ぎると棒になるかも
- 11 定年——を迎え、第二の人生をスタートさせた
- 15 土地を売買するときの値段
- 16 液体から固体をこし取る
- 18 大さじの1/3の容量です
- 20 晩ご飯のことで
- 21 農協、取説、メアド、合コンなどは金なり
- 22 ——は金なり



## 第225号 統一地方選挙!!?

# いもたま作造くん

作: HIDETO  
 絵: HISAMI

NTT東日本 - 北海道  
北海道東支店 設備部

J A組合員の皆様へ

# NTT設備事故防止のお願い

拝啓 時下皆様には益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。  
日頃より、弊社の電気通信事業に対し、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。さて、農作業時期を迎え、皆様の作業がお忙しくなるこの時期に、農業機械や農作物運搬車両等による弊社電話設備への事故が増加する傾向にあります。  
万が一事故が発生した場合は、昨今のサービスの多様化に伴ないIP電話やデータ通信サービスを利用しているお客様も多く影響も計り知れない状況にあり、設備復旧費用の負担額も多大となります。

例年、畑への出入りの際に電話ケーブルを切断する事故が多発していることから、農業機械の大型化により運搬車両の荷台の収納状態等を確実に確認していただき事故が起きないように起こさないようご協力をお願い致します。

敬具

## 【農作業時における近年の主な被災原因】

- トラクター操作ミスにより電柱、支線折損
- コンバインで電柱、ケーブル折損
- スプライヤでケーブル損傷
- ユニック操作、上げたまま走行しケーブル損傷
- ダンプ荷台収納忘れによりケーブル損傷
- 除雪時周囲確認不足による電柱、ケーブル損傷



《もし事故を起こしてしまった場合は》  
NTT東日本 - 北海道 局番なしの113番へ  
【携帯電話からは 0120 - 444 - 113へ】

### ＜本件の問い合わせ先＞

NTT東日本 - 北海道 北海道東支店 設備部 サービスセンター  
〒080-0803 帯広市東3条南12丁目2番地 NTT東ビル3F  
Tel 0155-23-7964